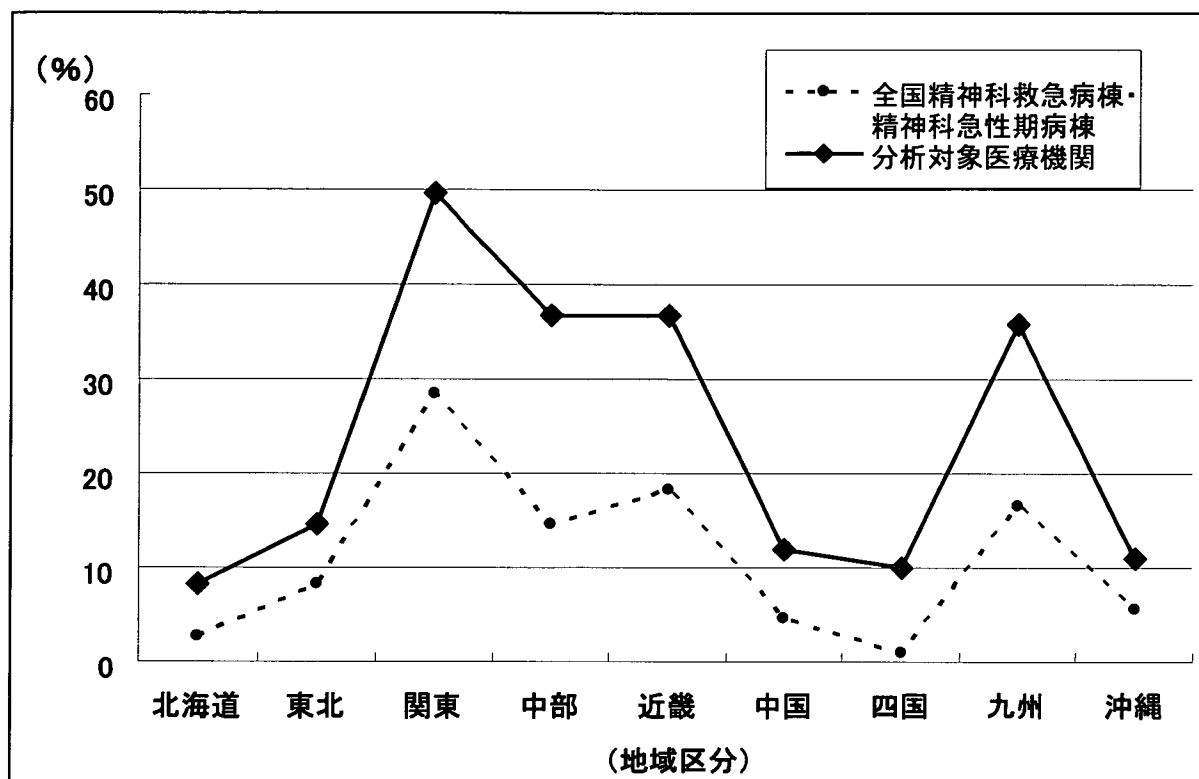


- 3) 長嶺敬彦, 川合厚子: QOL からみた抗精神病薬の至適投与量, 日本医事新報, 4237号 30-32 2005
- 4) 「病院における薬剤師の業務および人員配置関する検討会」について, 日本病院薬剤師会雑誌 第 43 卷 10 号 1277-1322 2007
- 5) 神村英利: 精神科病院における薬剤師の現状と課題—福岡県精神科病院協会会員機関における薬剤師の現状と課題—, 日本精神科病院協会雑誌 24 卷 12 号 63-69 2005
- 6) 三谷和賀子, 東禎二, 森下美穂, 金子裕美, 深見裕治: 薬剤科における質疑応答記録簿の 10 年間統計, トヨタ医報 15 卷 69 - 74 2005
- 7) 寺岡貴子, 岩切真砂子: 医療現場からみた統合失調症の薬物療法—精神科薬物療法における看護の役割 急性期治療を中心に—, 臨床精神薬理 8 卷 12 1893-1898 2005
- 8) 條谷洋司, 中北勝彦, 松田光信: 精神科急性期治療病棟において薬物療法を受ける患者の認知状況. 成人看護Ⅱ, 第 34 273-275 2004
- 9) 手島美絵, 島田雅美, 河野由佳, 河合美佐, 藤田歩, 山崎和枝, 太刀掛義子: 再入院患者の怠薬の原因調査 インタビューを行って, 精神科看護, 155 号 48-52 2005
- 10) 辻美江, 千崎康司, 野田幸裕, 鍋島俊隆: 精神科病棟における薬剤師の役割—患者の QOL 改善と薬剤費削減からのアプローチ—, 医療薬学 31 卷 10 号 787-793 2005

図一1 地域区分



表一1 病院の規模 (N=109)

病床数	50 以下	50-99	100-299	300-499	500 以上	計
施設数	0	1	44	39	25	109
割合 (%)	0	0.9	40.4	35.8	22.9	100.0
累積 (%)	0	0.9	41.3	77.1	100.0	

表一2 病棟ごとの病床数

	精神科 病床数 (N=109)	救急算定 病床数 (N=103)	療養算定 病床数 (N=98)	老人算定 病床数 (N=92)	その他の 病床数 (N=90)
平均値	321	34	116	25	143
標準偏差	158	27	110	31	143
最小値	34	0	0	0	0
最大値	785	100	785	120	768

表-3 1施設当りの薬剤師人数(N=109)

	薬剤師人数(人)
平均値	5.7
標準偏差	6.9
最小値	1
最大値	58

表-4 薬剤師1人当りの外来処方箋(院内)枚数(枚/月)(N=107)

	50-99 床	100-299 床	300-499 床	500 床以上	合計
施設数	1	43	38	25	107
平均値	909	212	164	103	176
標準偏差	-	293	218	173	253
最小値	909	0	0	0	0
最大値	909	1121	813	546	1121
総数の%	0.9	42.2	35.5	23.4	100.0

表-5 薬剤師1人当りの入院処方箋枚数(枚/月) (N=108)

	50-99 床	100-299 床	300-499 床	500 床以上	合計
施設数	1	44	38	25	108
平均値	423	609	563	736	620
標準偏差	-	310	239	280	284
最小値	423	15	21	330	15
最大値	423	1482	1153	1263	1482
総数の%	0.9	40.7	35.2	23.1	100.0

**表－6 病棟業務割合 (N=106)**

	病棟業務の割合
平均値	2.3
標準偏差	2.5
最小値	0
最大値	10

\* 全薬剤師の1週間の業務全体を10として、その内、精神科病棟業務にかかる時間割合。

\* ここでの病棟業務とは、「入院患者を対象に服薬指導を中心とした薬学的管理をおこない、安全で有効な薬物治療を支援する業務」と定義する。

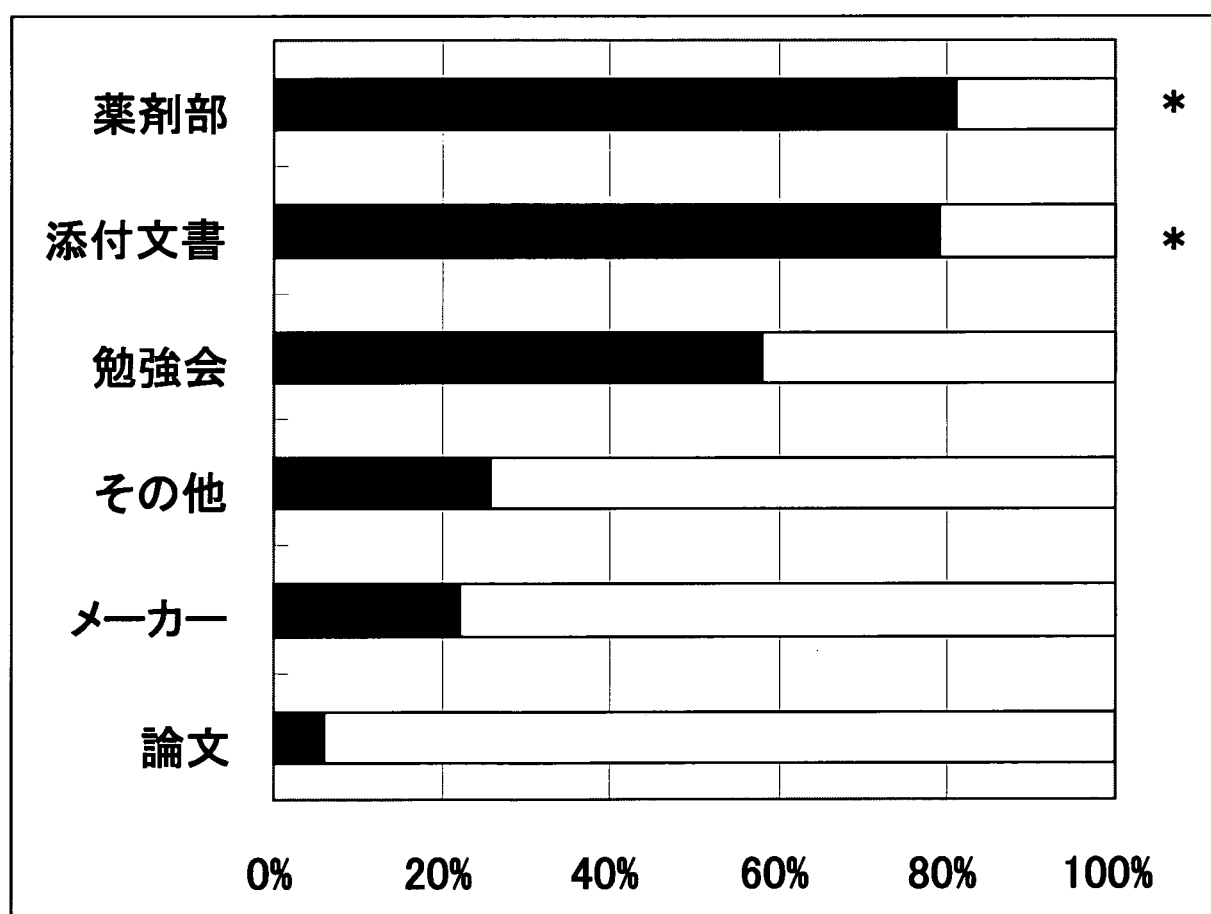
**表－7 薬剤師1人当たりの病床数(N=109)**

	50-99 床	100-299 床	300-499 床	500 床以上	合計
施設数	1	44	39	25	109
平均値	17	76	88	87	82
標準偏差	-	22	28	38	29
最小値	17	37	32	20	17
最大値	17	139	164	140	164
総数の%	0.9	40.4	35.8	22.9	100.0

表-8 薬物情報収集の方法/看護師

	有効		P 値
	はい(%)	いいえ(%)	
添付文書	76( 79)	18( 21)	P<0.01
薬剤部	78( 81)	18( 19)	P<0.01
勉強会	56( 58)	40( 42)	N.S.
その他	25( 26)	71( 74)	P<0.01
メーカー	21( 22)	75( 78)	P<0.01
論文	6( 6)	90( 94)	P<0.01

図-2 薬物情報収集の方法/看護師



(\* 有意に多くの看護師に選択された項目)

表-9 薬物情報収集の困難/看護師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	10	9	10	10
ときに	50	46	53	63
あまり	35	32	37	100
合計	95	87	100	
欠損値	14	13		
合計	109	100		

図-3 薬物情報収集の困難/看護師

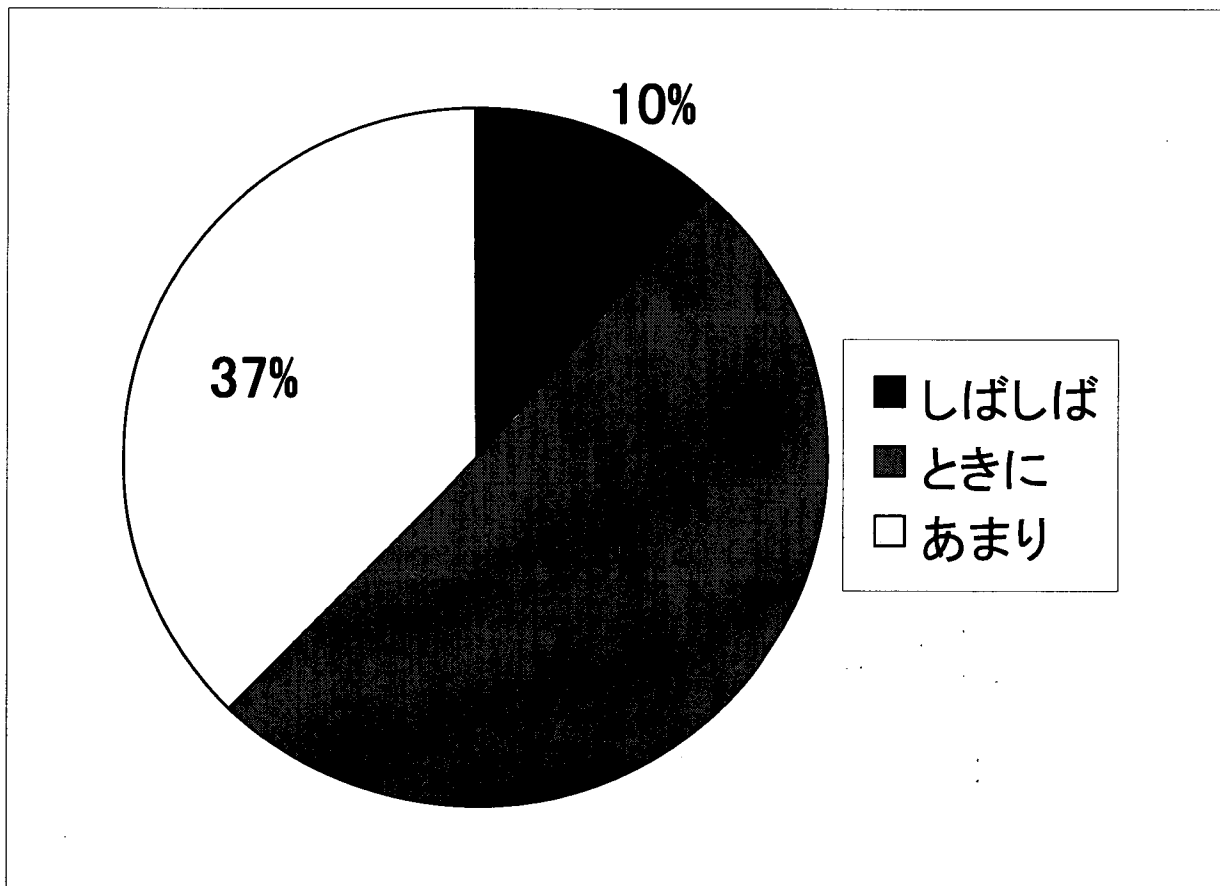


表-10 薬物選択への疑問/看護師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	18	17	19	19
ときに	70	64	74	93
あまり	7	6	7	100
合計	95	87	100	
欠損値	14	13		
合計	109	100		

図-4 薬物選択への疑問/看護師

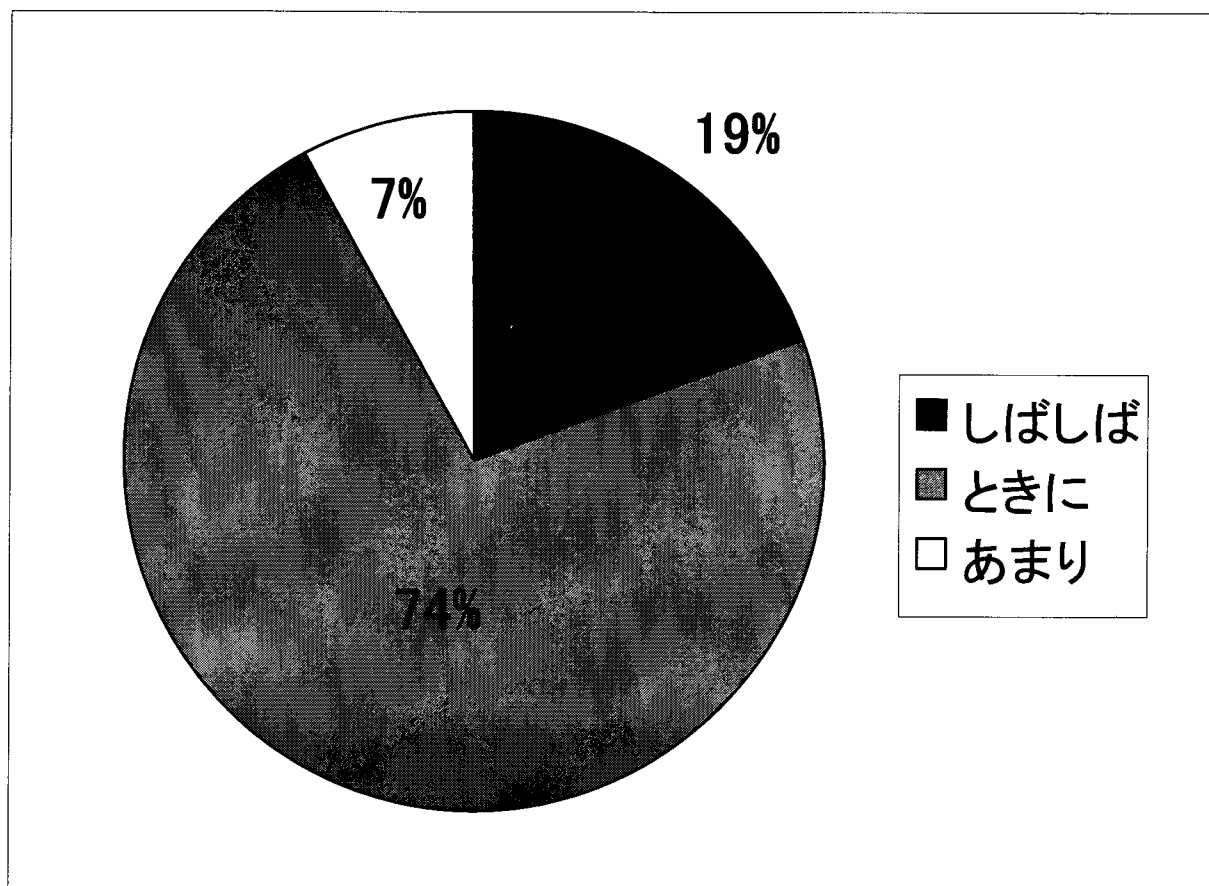


表-11 薬物治療に関する薬剤師への相談/看護師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	20	18	21	21
ときに	49	45	52	73
あまり	21	19	22	95
まったく	5	5	5	100
合計	95	87	100	
欠損値	14	13		
合計	109	100		

図-5 薬物治療に関する薬剤師への相談/看護師

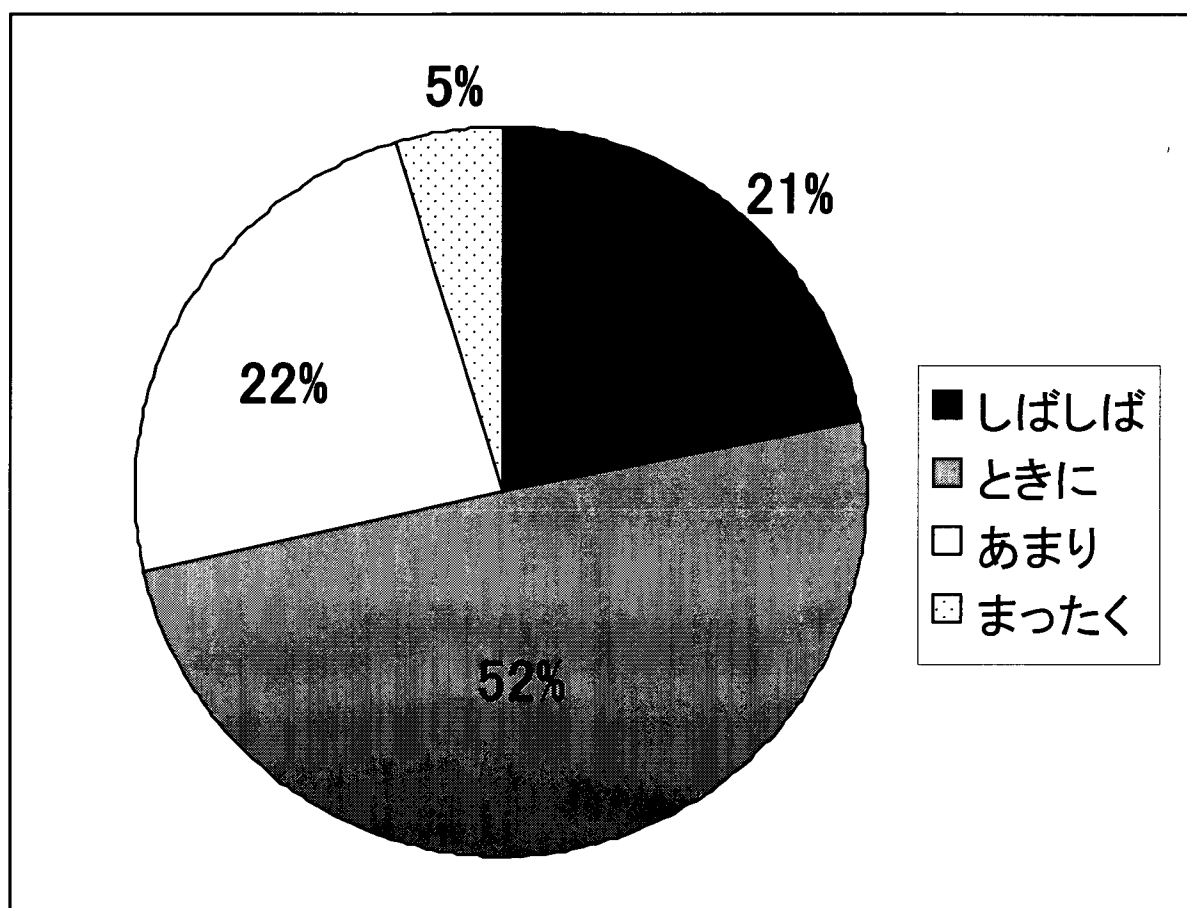




表-12 薬物治療に関する薬剤師への相談期待/看護師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	28	26	30	30
ときに	59	51	62	92
あまり	8	7	8	100
合計	95	87	100	
欠損値	14	13		
合計	109	100		

図-6 薬物治療に関する薬剤師への相談期待/看護師

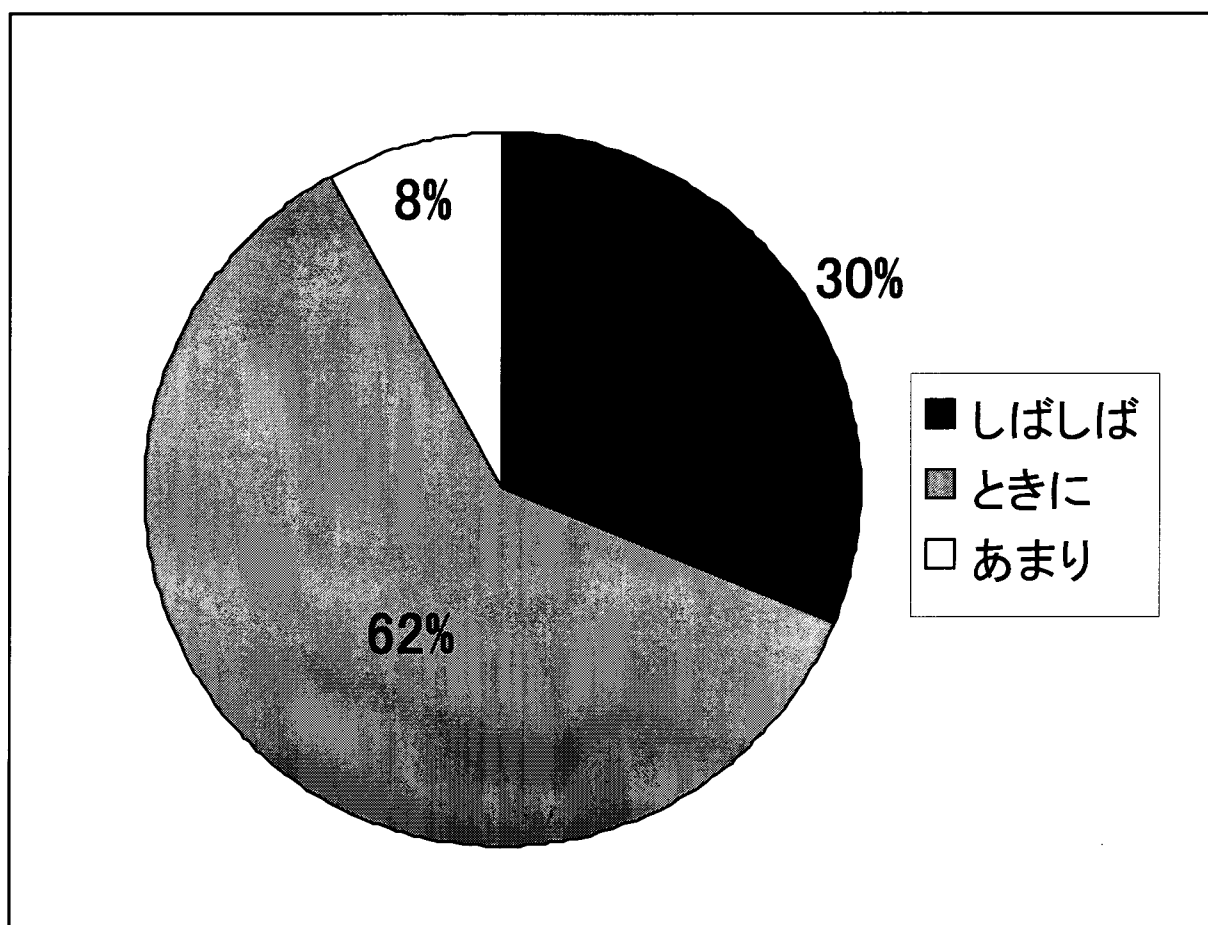


表-13 薬剤師の精神医療への薬物治療貢献度/看護師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
とても	40	37	43	43
まあまあ	36	33	38	81
あまり	17	16	18	99
まったく	1	1	1	100
合計	94	86	100	
欠損値	15	14		
合計	109	100		

図-7 薬剤師の精神医療への薬物治療貢献度/看護師

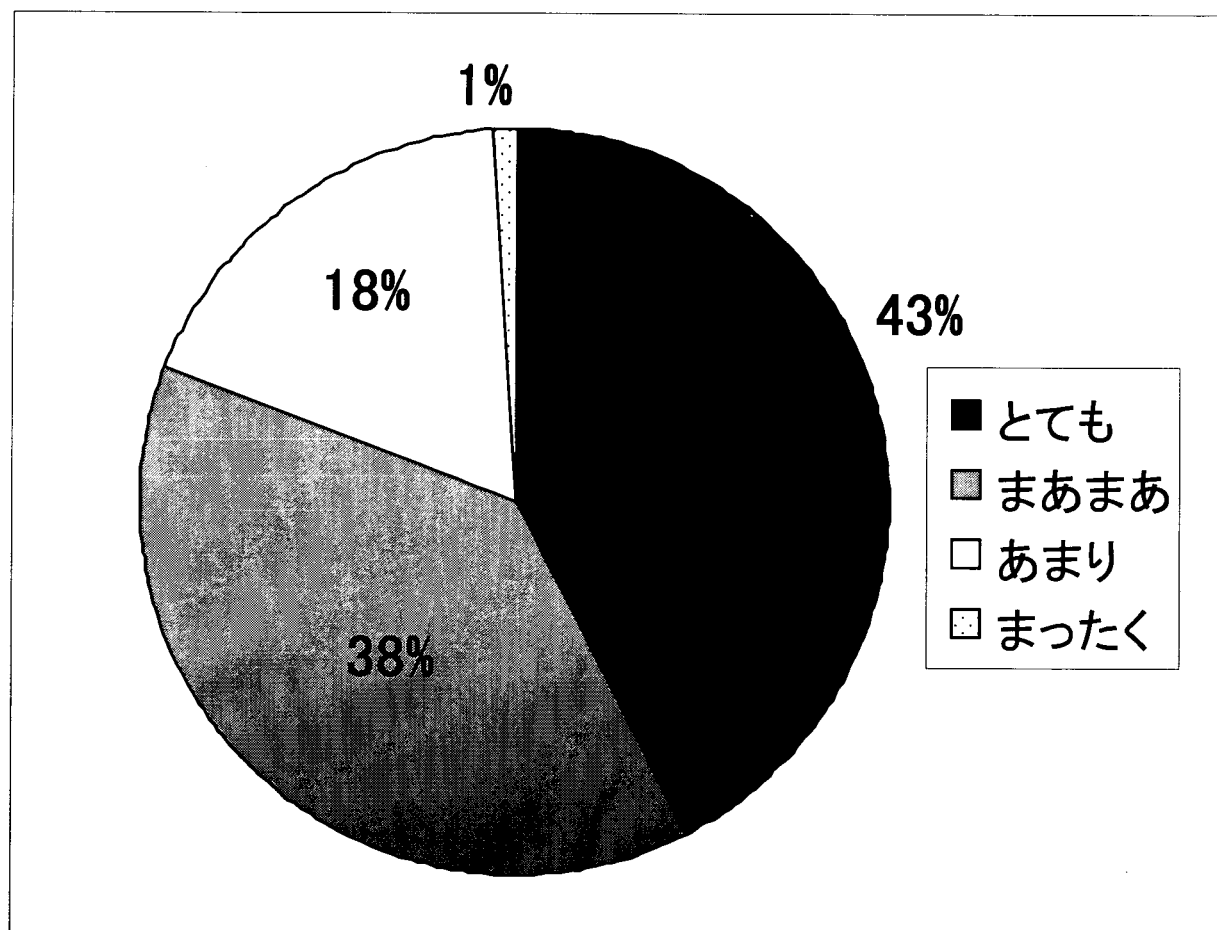


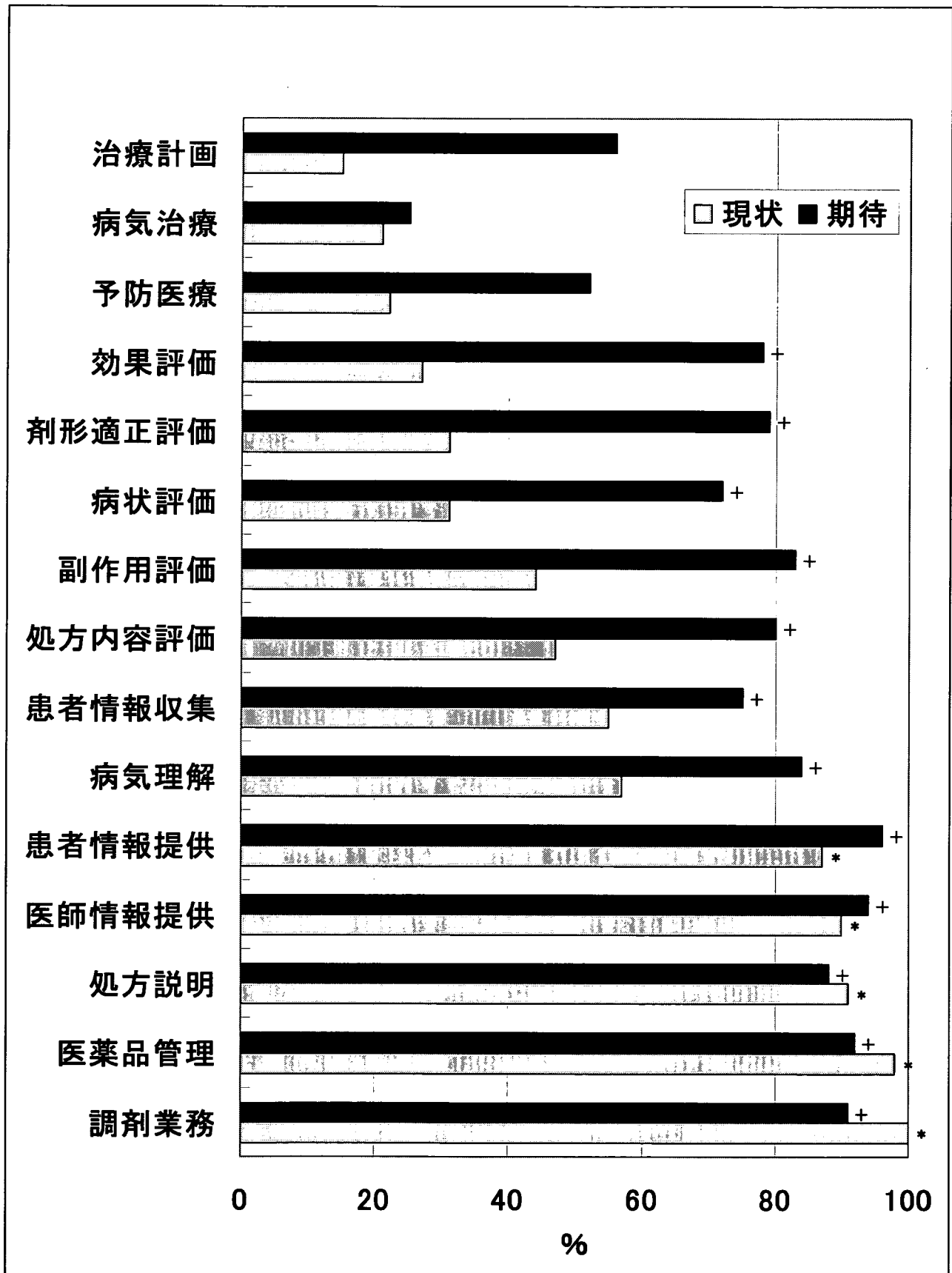
表-14 薬剤師業務に関する看護師の認識・現状

	N=95		
	はい(%)	いいえ(%)	P 値
処方箋に基づいた調剤業務	95( 100)	0	P<0.01
院内・薬局内の医薬品管理	93( 98)	2( 2)	P<0.01
患者への処方内容の説明	86( 91)	9( 9)	P<0.01
医師等に薬の適正使用に関する情報提供	85( 90)	10( 10)	P<0.01
患者に薬の適正使用に関する情報提供	83( 87)	12( 13)	P<0.01
患者の病気・病状の理解	55( 57)	40( 43)	N.S.
患者から治療に必要な情報収集	52( 55)	43( 45)	N.S.
処方内容が適切で正しいかを評価	45( 47)	50( 53)	N.S.
患者の薬物治療の副作用を評価	42( 44)	53( 56)	N.S.
患者の病気・病状の評価	29( 31)	66( 69)	P<0.01
薬の形や使用法の患者適正を評価	29( 31)	66( 69)	P<0.01
患者の薬物治療の効果を評価	26( 27)	69( 73)	P<0.01
病気の予防や早期発見(予防医療)	21( 22)	74( 78)	P<0.01
病気を治療すること	20( 21)	75( 79)	P<0.01
薬物治療のための治療計画	15( 15)	80( 85)	P<0.01

表-15 薬剤師業務に関する看護師の認識・期待

	N=95		
	はい(%)	いいえ(%)	P 値
患者に薬の適正使用に関する情報提供	91( 96)	4( 4)	P<0.01
医師等に薬の適正使用に関する情報提供	89( 94)	6( 6)	P<0.01
院内・薬局内の医薬品管理	87( 92)	8( 8)	P<0.01
処方箋に基づいた調剤業務	86( 91)	9( 9)	P<0.01
患者への処方内容の説明	84( 88)	11( 12)	P<0.01
患者の病気・病状の理解	80( 84)	15( 16)	P<0.01
患者の薬物治療の副作用を評価	79( 83)	16( 17)	P<0.01
処方内容が適切で正しいかを評価	76( 80)	19( 20)	P<0.01
薬の形や使用法の患者適正を評価	75( 79)	20( 21)	P<0.01
患者の薬物治療の効果を評価	74( 78)	21( 22)	P<0.01
患者から治療に必要な情報収集	71( 75)	24( 25)	P<0.01
患者の病気・病状の評価	68( 72)	27( 28)	P<0.01
薬物治療のための治療計画	53( 56)	42( 44)	N.S.
病気の予防や早期発見(予防医療)	49( 52)	46( 48)	N.S.
病気を治療すること	24( 25)	71( 75)	P<0.01

図一8 薬剤師業務に関する看護師の認識(現状と期待)



(\* 有意に貢献と認識 + 有意に貢献と期待)

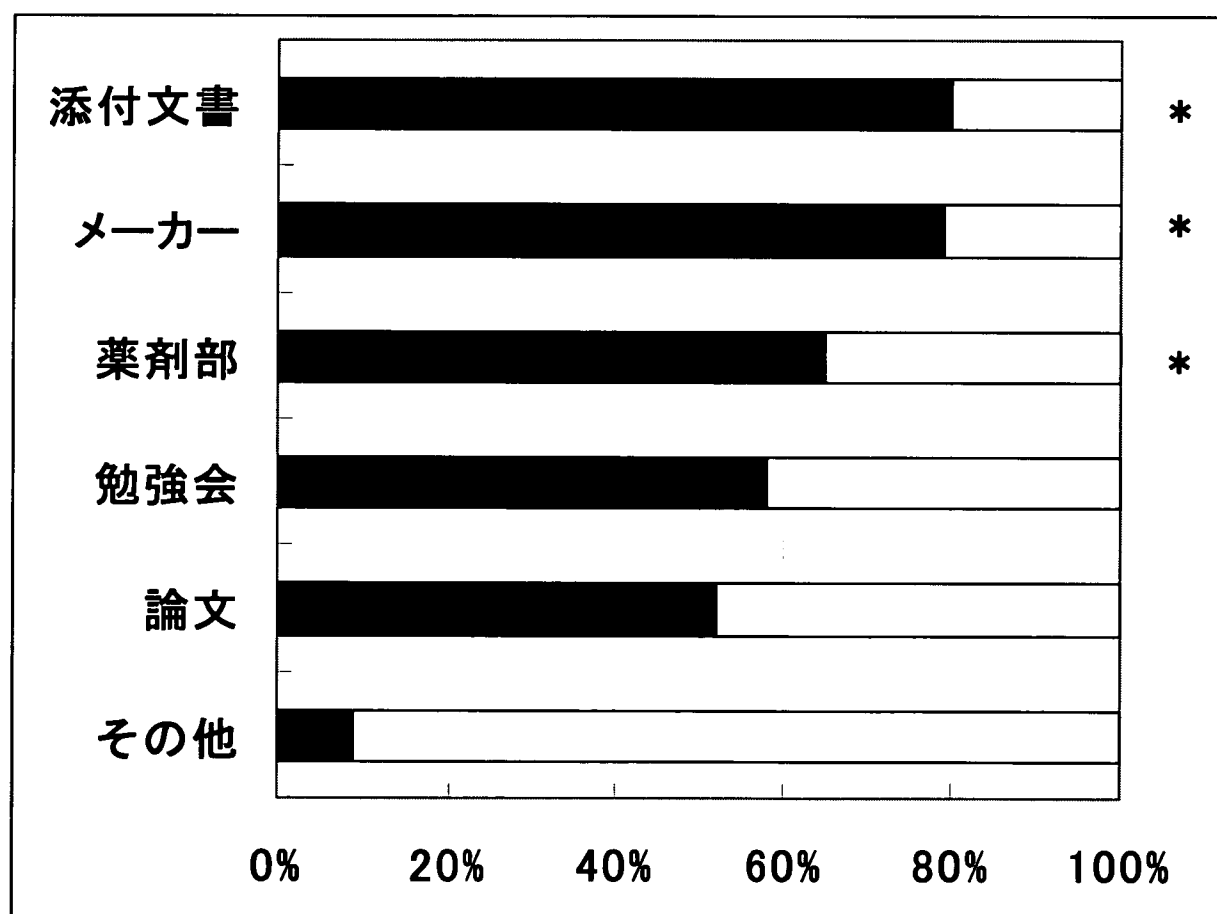
**表－16 薬剤師業務に関する看護師の認識分類**

分類	業務項目
<p>1. 現状(+) 期待(+) 期待される薬剤師業務であり 実践されている業務</p>	<p>処方箋に基づいた調剤業務 院内・薬局内の医薬品管理 患者への処方内容の説明 患者に薬の適正使用に関する情報提供 医師等に薬の適正使用に関する情報提供</p>
<p>2. 現状(-) 期待(+) 期待される薬剤師業務であ るが実践されていない業務</p>	<p>患者から治療に必要な情報収集 患者の病気・病状の理解 患者の病気・病状の評価 処方内容が適切で正しいかを評価 患者の薬物治療の効果を評価 患者の薬物治療の副作用を評価 薬の形や使用法の患者適正を評価</p>
<p>3. 現状(-) 期待(-) 薬剤師業務として期待も実践 もされていない業務</p>	<p>病気の予防や早期発見(予防医療) 薬物治療のための治療計画 病気を治療すること</p>

表-17 薬物情報収集の方法/医師

	有効		P 値
	はい(%)	いいえ(%)	
添付文書	76( 80)	19( 20)	P<0.01
メーカー	75( 79)	20( 21)	P<0.01
薬剤部	62( 65)	33( 35)	P<0.03
勉強会	55( 58)	40( 42)	N.S.
論文	49( 52)	46( 48)	N.S.
その他	9( 9)	86( 91)	P<0.01

図-9 薬物情報収集の方法/医師



(\* 有意に多くの医師に選択された項目)

表-18 薬物情報収集の困難/医師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	4	4	4	4
ときに	69	63	73	78
あまり	21	19	22	100
合計	94	86	100	
欠損値	15	14		
合計	109	100		

図-10 薬物情報収集の困難/医師

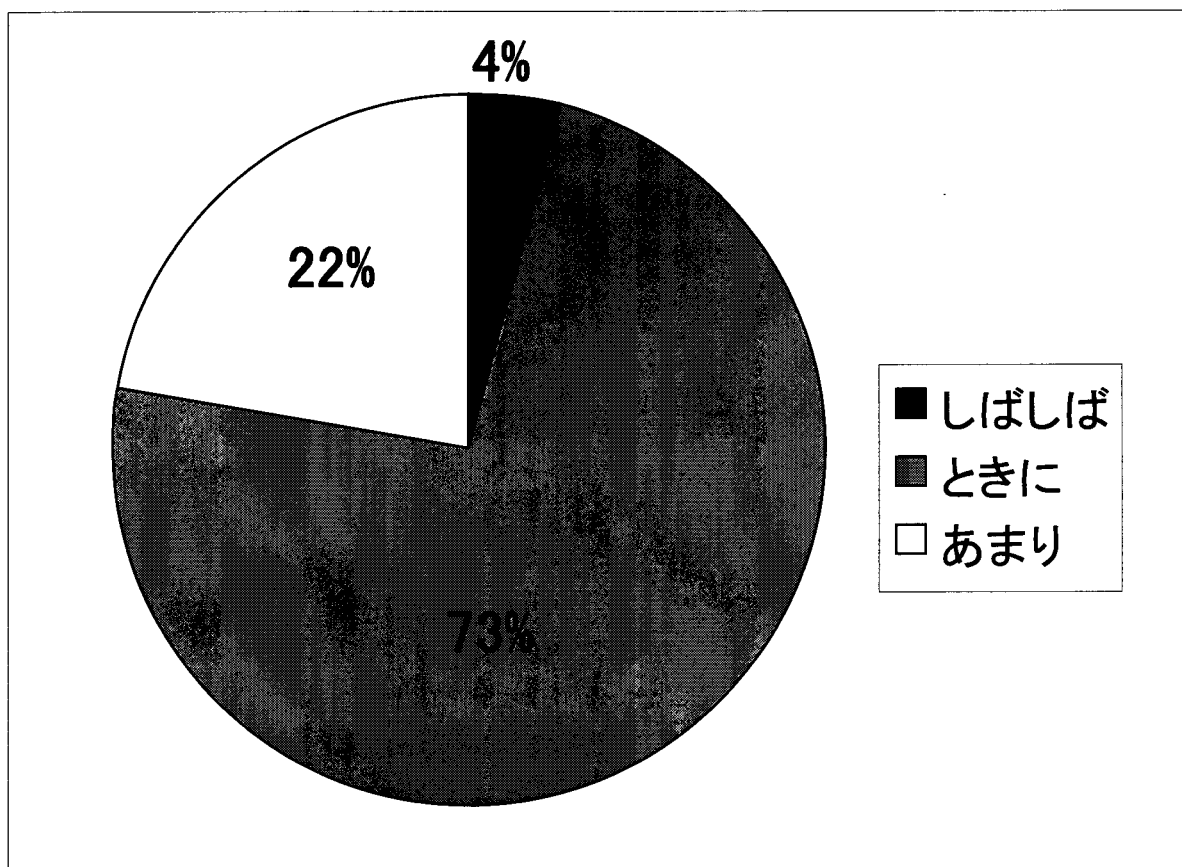


表-19 薬物選択への困難/医師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	33	30	36	36
ときに	51	47	55	91
あまり	7	6	8	99
まったく	1	1	1	100
合計	65	84	100	
欠損値	17	16		
合計	109	100		

図-11 薬物選択への困難/医師

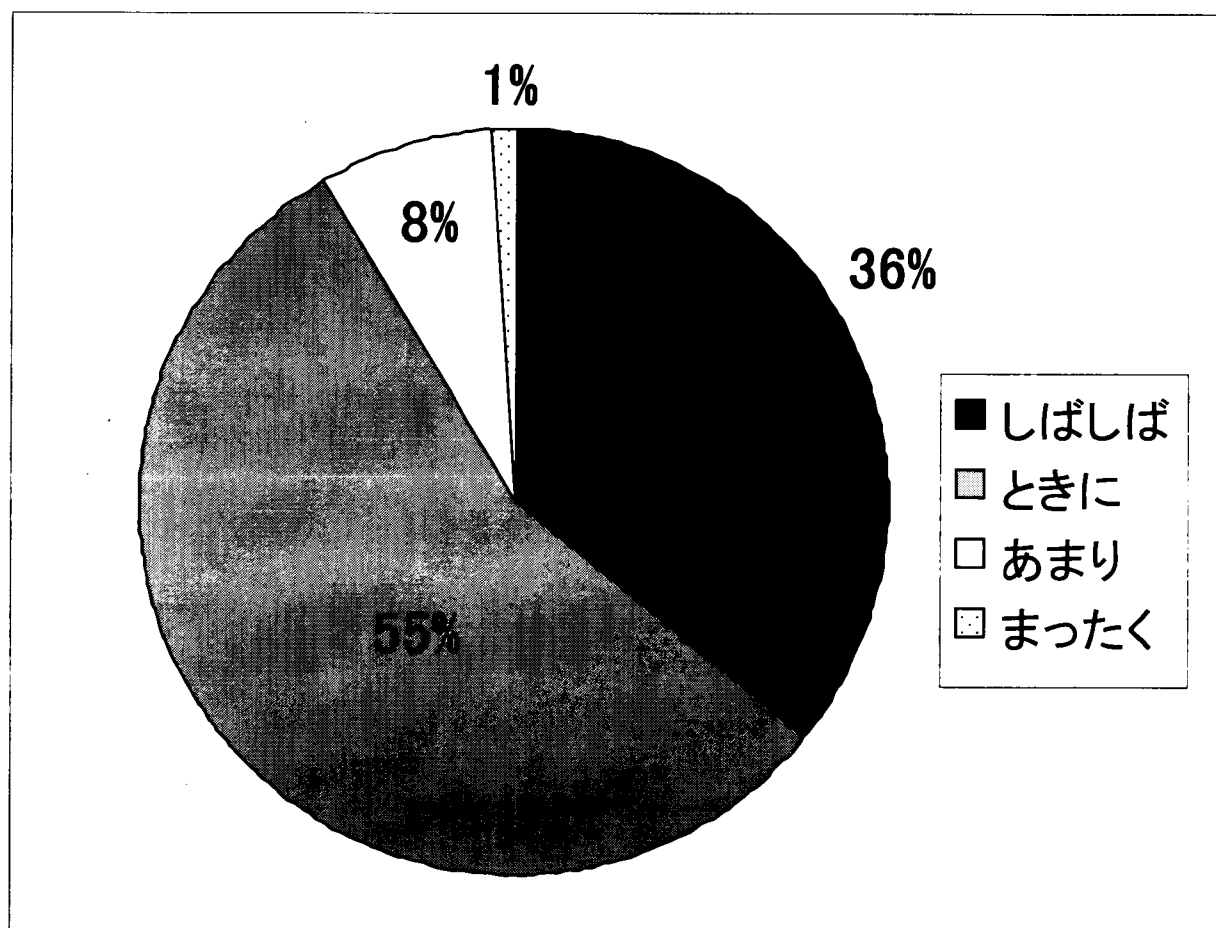




表-20 薬物治療に関する薬剤師への相談/医師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	19	17	20	20
ときに	54	50	58	78
あまり	19	17	20	98
まったく	2	2	2	100
合計	94	86	100	
欠損値	15	14		
合計	109	100		

図-12 薬物治療に関する薬剤師への相談/医師

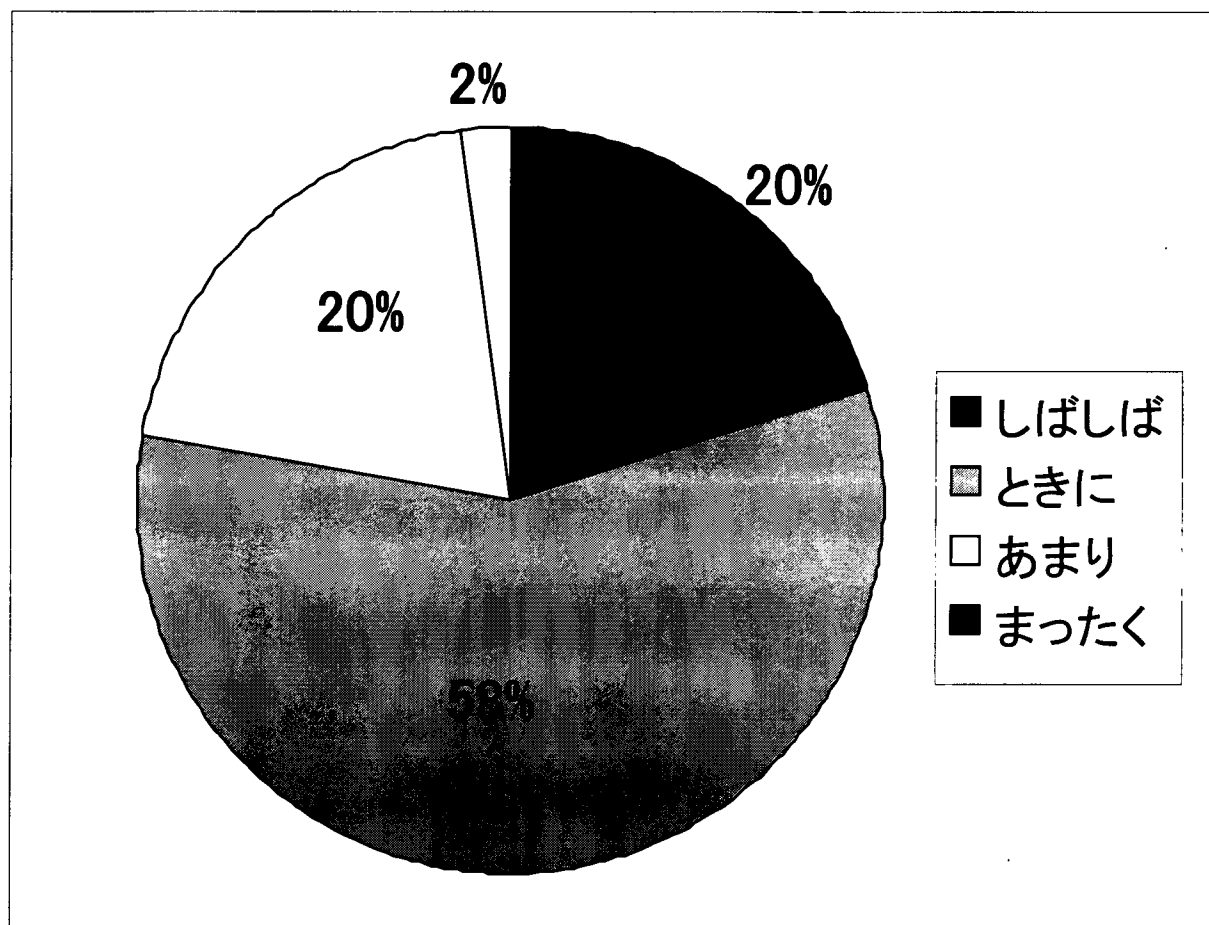


表-21 薬物治療に関する薬剤師への相談期待/医師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
しばしば	19	17	20	20
ときに	52	48	55	75
あまり	22	20	24	99
まったく	1	1	1	100
合計	94	86	100	
欠損値	15	14		
合計	109	100		

図-13 薬物治療に関する薬剤師への相談期待/医師

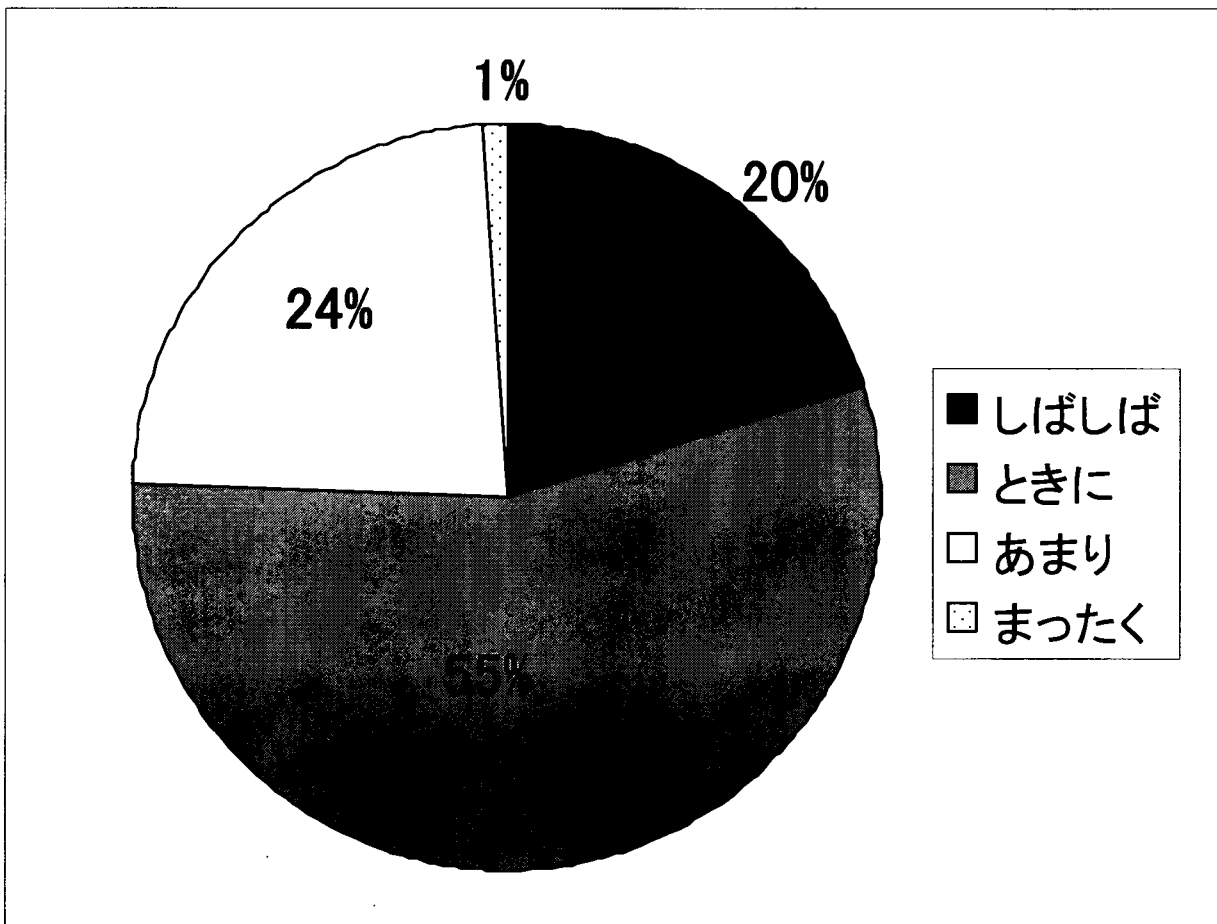
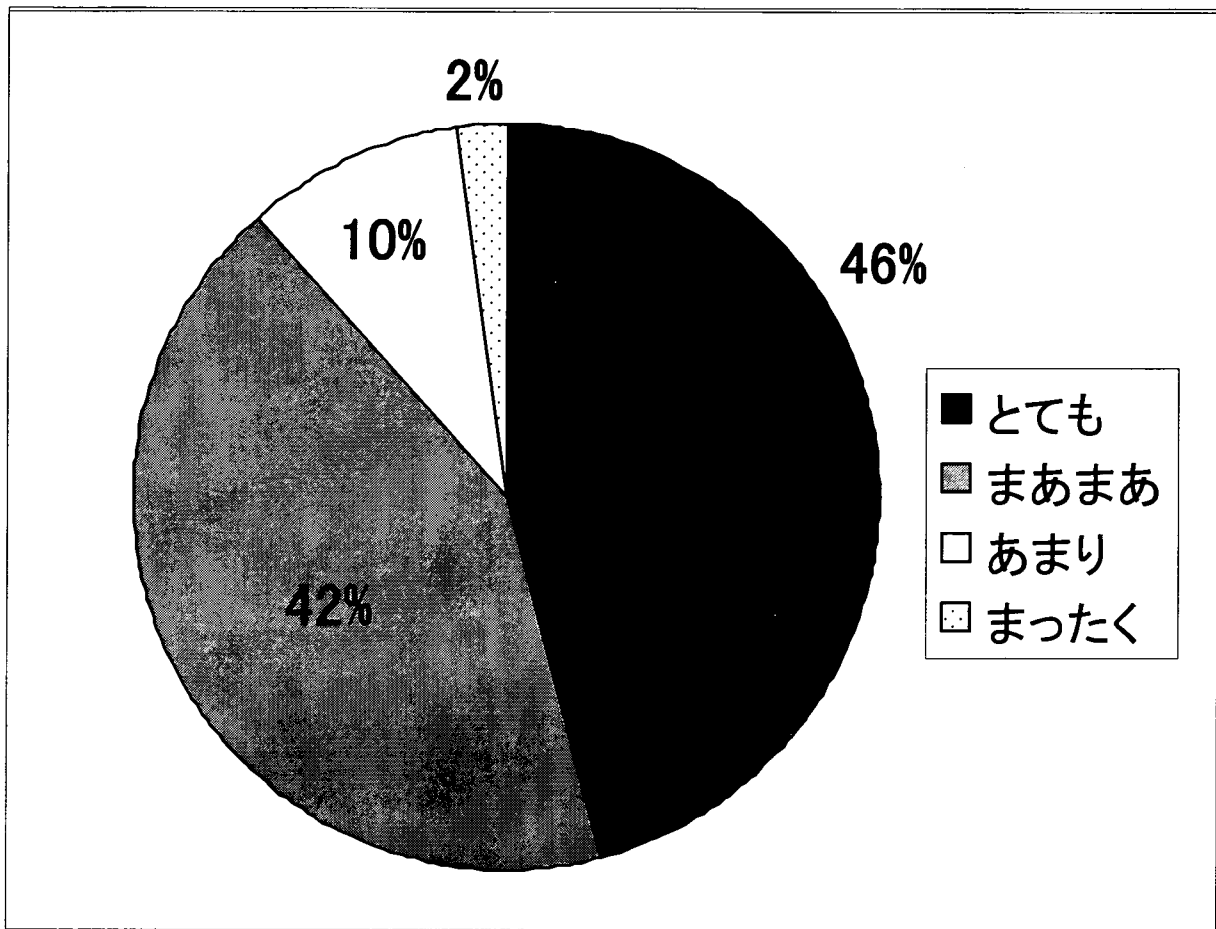


表-22 薬剤師の精神医療への薬物治療貢献度/医師

	度数	対象数%	有効データ%	累積%
有効				
とても	43	39	46	46
まあまあ	40	37	42	88
あまり	9	8	10	98
まったく	2	2	2	100
合計	94	86	100	
欠損値	15	14		
合計	109	100		

図-14 薬剤師の精神医療への薬物治療貢献度/医師



表一23 薬剤師業務に関する医師の認識(現状)

	有効数 N=94		
	はい(%)	いいえ(%)	P 値
処方箋に基づいた調剤業務	92( 98)	2( 2)	P<0.01
院内・薬局内の医薬品管理	92( 98)	2( 2)	P<0.01
患者への処方内容の説明	88( 94)	6( 6)	P<0.01
患者に薬の適正使用に関する情報提供	88( 94)	6( 6)	P<0.01
医師等に薬の適正使用に関する情報提供	84( 89)	11( 11)	P<0.01
処方内容が適切で正しいかを評価	63( 67)	31( 33)	P<0.01
患者の病気・病状の理解	59( 63)	35( 37)	N.S.
患者から治療に必要な情報収集	49( 52)	45( 48)	N.S.
薬の形や使用法の患者適正を評価	45( 48)	49( 52)	N.S.
患者の薬物治療の副作用を評価	38( 40)	56( 60)	N.S.
患者の病気・病状の評価	30( 32)	64( 68)	P<0.01
患者の薬物治療の効果を評価	23( 25)	71( 75)	P<0.01
病気を治療すること	16( 17)	78( 83)	P<0.01
病気の予防や早期発見(予防医療)	11( 12)	83( 88)	P<0.01
薬物治療のための治療計画	11( 12)	83( 88)	P<0.01

表一24 薬剤師業務に関する医師の認識(期待)

	有効数 N=94		
	はい(%)	いいえ(%)	P 値
患者に薬の適正使用に関する情報提供	92( 98)	2( 2)	P<0.01
処方箋に基づいた調剤業務	91( 97)	3( 3)	P<0.01
院内・薬局内の医薬品管理	91( 97)	3( 3)	P<0.01
医師等に薬の適正使用に関する情報提供	90( 96)	4( 4)	P<0.01
患者への処方内容の説明	88( 94)	6( 6)	P<0.01
処方内容が適切で正しいかを評価	78( 83)	16( 17)	P<0.01
患者の病気・病状の理解	77( 82)	17( 18)	P<0.01
薬の形や使用法の患者適正を評価	72( 77)	22( 23)	P<0.01
患者から治療に必要な情報収集	68( 72)	26( 28)	P<0.01
患者の薬物治療の副作用を評価	64( 68)	30( 32)	P<0.01
患者の薬物治療の効果を評価	48( 51)	46( 49)	N.S.
患者の病気・病状の評価	44( 47)	50( 53)	N.S.
薬物治療のための治療計画	32( 34)	62( 66)	P<0.02
病気を治療すること	22( 23)	72( 77)	P<0.01
病気の予防や早期発見(予防医療)	21( 22)	73( 78)	P<0.01